

1999年度ACE総会と、それに先だつての幹事会が、2月20日にマックワールド・エキスポ会場に隣接する幕張プリンスホテルにて行われました。北海道支部はこの日のエキスポ会場ACEブースの切り盛りも担当し、あれこれと忙しい中での開催でしたが、懸案事項のいくつかも方向付けることができました。以下報告です。

幹事会報告

事務局 青柳

1.98年度収支報告

昨年度の収支報告について、事務局より報告されました。参考として、99.1.14現在の会員数についても報告され、会員は総数428名(北海道100名) 98年の新規入会者は104名(北海道39名)でした。

2.98年度活動報告

各支部からの報告要点は以下の通りです(北海道は支部リーダー98年12月号の支部総会報告を参照ください)。
[東北支部] 発足して二年半程度になるが、ここ最近では活動が停滞している。来年度は人事の都合もあるが、一新して進めたい。
[関東支部] 例会スタイルの限界を感じ、派手かじっくりか、という選択を迫られ、ネットワークインスクールというプロジェクトを立ち上げ地道に勉強をしながら進めていくことをやっている。
[北陸支部] 会員の学校を回って例会をやっている。
[上越支部] JCOMという団体と共同で動くことが多い。
[関西支部] 少しへばってきた。2000年世紀末POEMを開催するに当たって他教育研究会の組織化も進んでいる中で、ACEの存在意義を改めて考えて議論している。エデュテイメント・ジャ



なかなかの盛況ぶりをみせるACEブース。

パンに協力、というようなことにも取り組んでいる。
[九州支部] POEM阿蘇に来てくれてありがとうございました。阿蘇でちょっと燃え尽きたので暫く活動が滞っているが、鈴木敏恵さんとの交流もしている。来年もミニPOEMをやりたいと考えている。ACEネットの活用について少し考えていきたい。

3. 討議事項

ACEネットの活用について

関東支部・清水先生より、ACEネットの有効活用について問



スクール・オンラインの杉野さんを無理矢理捕まえてトークショーです。

題提起があり、活性化のためにどうすべきかについて各支部幹事から意見が出されました。ファーストクラスのWeb移行(FCIS) Web掲示板化、メーリングリスト化などいくつかの方法が検討されましたが決め手がなく、以下の方向をとることとなりました。

- ・会員間コミュニケーションのメインツールとしては、これまで通りファーストクラスを採用する。FCISへの移行に関しては、アップグレードの期限が迫っていることもあるので、本部事務局で予算を検討のうえ、可能であれば実施する。
- ・会報原稿や活動報告など、締め切りのあるものはメールの方が便利な場合もある。そこで、現存のaceメーリングリストの登録アドレスを整理したうえで、適宜そういった情報はこちらにも流していく。それによって一般会員への幹事会活動の公開も図られる。

会報制作について

- 会報編集長の関東支部・小原先生より、今後の方針が提案され、了承されました。
- ・年4回、大きなイベントの前後に発行を基本とする。
- ・内容は、これまでの支部の活動報告から、イベントのフォローを中心にしていく。また、実践報告は特集として1回にまとめる。
- ・メーリングリストを活用して原稿集めの迅速化を図るとともに、支部に会報担当をおいて窓口を一本化する。

ACEネットID管理とWebのftp権限について

上越支部・小川先生より、以下の方針が提案され、了承されました。

- ・ACEネットID管理については、これまで通り各支部幹事に管理者権限を与え、パスワード変更のみ可能とする(ID発行は上越支部で一元管理)。
- ・Webのftp権限については、幹事会の4名にWebのTOPフォルダー内のすべてのファイルを更新できる権利を与え、更新頻度を高める(北海道は、荒島・青柳の2名)。

渉外担当の名称、役割について

名称を「代表幹事」に変更、役割はこれまで通り企画推進ということになりました。

2000年以降のPOEM開催地について

2000年大阪、2001年北海道ということで決定しました。2002年以降は保留。

学生会員の年会費、ファミリー会員について

北陸支部・小林先生と青柳から、上記について提案があり、以下のように決定しました。

- ・学生会員の年会費は、学生負担の軽減と将来の正会員増を目的に、現行の4000円から半額の2000円とする。ただし、職業を持っている学生に関しては、正会員となってもら。学生会員は正会員と同様に会報が送られ、ネットIDを発行される。
- ・ファミリー会員を新設し、年会費は1名につき2000円とする。会報は送付されないが、ネットIDは発行される。

4.99年度の支部体制について

以下の通りです（抜けているところは、今後各支部で検討します）。

[北海道] 支部長) 武田 (幹事) 荒島 (事務局) 青柳 (会計) 吉田 (会報担当) 吉田 (ACE ネットサポート) 荒島、青柳
[東北] 支部長) 和田 (幹事) (事務局) (会計) (会報担当) (ACE ネットサポート)

[関東] 支部長) 西沢 (幹事) 岡田 (事務局) 後藤 (会計) 後藤 (会報担当) 小原 (ACE ネットサポート) 佐藤

[上越] 支部長) 山川 (幹事) 戸田 (事務局) 小川 (会計) 小川 (会報担当) 山川、小川 (ACE ネットサポート) 小川

[北陸] 支部長) 小林 (幹事) 林、大橋 (事務局) 乾川 (会計) 小林 (会報担当) 小林 (ACE ネットサポート) 小林



むっちゃん。メールはやっぱりPilotだよな。

[関西] 支部長) 中島 (幹事) 檜皮 (事務局) 葉山 (会計) 葉山 (会報担当) (ACE ネットサポート) 中島

[九州] 支部長) 吉富 (幹事) 辻、堀尾 (事務局) 井立 (会計) 井立 (会報担当) (ACE ネットサポート) 吉富

また、本部事務局 (ヤノ電器) のサポート社員が、尾崎さんから上田さんに担当していただくことになりました。

5.99年度会長および代表幹事の推薦

会長：上越教育大・渡辺隆先生、代表幹事：玉川学園・清水英典先生ということで、総会に諮ることとなりました。

総会報告

引き続き、総会を開催しました。上記の幹事会で決定された事項が提案・報告され、承認の必要な案件についてはすべて可決されました。

その後、場所を移して懇親会が行われました。ジョブズの参加はなりませんでした。アップルさんをはじめ協賛企業の担当の方もいらっしゃり（という道新も協賛企業だった、ということに懇親会費を払って気づきました）ACE活動のPRもできて楽しい時間となりました。北海道支部の支部紹介では、参加している支部会員全員がステージに向かうと、会場はがらんどろ



武田一座。これからもよろしくお願ひします。

になってしまう有様で、支部の活気を改めて印象づけてまいりました。武田先生、せっかく全員紹介してくれたのに、みんな「巻き」を入れてごめんね。

2001年POEMの北海道開催は本決まりです。みなさんそれぞれイメージを描き始めて、やりたいことはどんどん挙げてください。がんばるにゃん。

Mac World EXPO`99 開催

事務局 吉田

さあ、一年ぶりのエキスポです。

数年前のメッセのスペースの使い方とは比べものにならないですが、それでも今年は「生ジョブズ」の影響か、開催前から相当な期待感がありました。

基調講演には1万人を越す行列が出来、テレビ各社がジョブズに単独インタビュー、という状況の中で、新しいテクノロジーの発表に注目が集まりました。

まあ、ふたを開けてみれば、1月のサンフランシスコの焼き直し、といえなくもない内容でしたし、Mac OS Xサーバのデモも失敗したようですが、それでも会場の興奮は相当なもんだったようです。

その雰囲気を引き継いで、展示会場のほうもiMacの新品とNew PowerMac G3を中心に、盛り上がっていました。特に、「Yum」のキャッチフレーズはそこかしこにあふれかえっていて、大変な状況でした。パッジみんなでつかみ取り状態だし。

新しいプラットフォーム、USBとFireWire関連の周辺機器は今回の目玉で、特に我々がYanoブースでも新しい機器がデモされていました。

ソフトウェアに関しては正直め新しい製品がなかったのですが、それでも Dreamweaver 2J や、BeOS など、トピック的に新しい製品がデモンストレーションされてました。また、一部熱狂的ファ



Yum。本当においしいそう。

ンのいる「テライユキ」の紙袋も人気を博していたようです。

PowerBook に関するサイトで有名な Jason D. O'Grady 氏をして、「日本のPowerBookユーザーは世界中で最も狂信的で熱心だ」と言わしめたように、今回はお飾り系のデモ機やイベントが乱立したのも特徴の一つでした。NuwerTech のブースではPowerBook お飾りコンテスト、またUG が中心になって行った2400大集合撮影会ではなんと202台のマシンが集まったの記念撮影となったそうです。えっ、私？ 昨年もそうだったのですが、ACE幹事会とぶつかって参加できませんでした。野口先生と私で204台になったのに……。

とにかく、昨年に比べると「楽しい」「元気」なEXPOで安心しました。

総会、懇親会と終わって、翌日曜日はこちら「秋葉」巡って「蕎麦」喰って帰りました。定番になりつつあるなあ。

ACE ブース無事終了！

荒島

iMacカラーで彩られた今年のMacExpoでした。ブースでの主な発表内容は次のようなものです。今年のExpoはiMacの登場とスティーブ・ジョブズ氏の登場もあり、昨年一昨年を大幅に上回る盛会でした。

その中でもACEブースは異彩を放っていました。



いやいや、今回は高本さんにもご足労願いました。

主な発表の内容は次のようなものです。

ビレット、ポステイーノ、献立の達人などのアプリケーションの紹介。

コーディネータータイムでは西澤先生の強引な引きで「スクールのオンライン」が紹介されました。

小川先生からVTRを使ったThinkQuestの紹介。

上越からは福保先生のささやきメールの活用事例、笠原先生の特殊教育におけるコンピュータ利用、石崎先生の水の学習について北海道からはお馴染みバーチャル雪まつり'99、高本さんのひらがな変換プロキシー、ジョージ村田がMklinuxを持ち込んでのレイティング検索プロキシーの発表が延々と続きました。

北陸の小林先生からは資料提供がありました。

コーディネーター集まれでは、教育関係者だけではなくより多くの方に登録いただきました。残念ながら目標の100名は突破できませんでしたが、今年のPOEM'99 in Tokyoで活躍いただけると思います。

「教育分野におけるデータベース利用推進事業」の参加募集

私どもデータベース振興センター(以降DPC)では、通商産業省、情報処理振興事業協会ならびに国内の主要データベース・プロデューサー及びディストリビューターの幅広い協力を得て、標記の事業を実施いたします。

目的

ビジネス現場で実際に使われている商用データベースを<無償>で利用できる環境を提供し、小・中・高等教育における情報活用の促進を図り、教育分野における情報リテラシーの向上を目指しています。具体的には、学校の端末からインターネットを通してDPCのサーバーへアクセスし、DPCから発行するIDとパスワードで商用データベースを検索し授業の教材として利用していただけます。

対象校

全国の小・中・高等学校の<インターネットの環境が整備されている学校>で約80校を対象に行います。

データベースの利用期間

平成11年6月～平成12年1月

経費負担

商用データベース使用にかかる経費負担はありません。プロバイダー及び回線費用はご負担いただきます。

利用支援

スムーズにご利用いただくため、以下のユーザ支援を予定しています。

・教職員を対象にしたデータベースの基礎知識や利用事例を盛り込んだ研修

・急なトラブルや問い合わせに対応するヘルプデスク

・FAQ(データベースに関するよくある質問とその回答集)

・データベースのキーワードが具体的にわかる調べたいテーマをやさしい言葉で検索できる機能の提供

やっていただくこと

使用したシステムやデータベースに関するアンケートやヒヤリングにお答えいただけます。

可能であれば、本事業主催の委員会にご出席をお願いいたします。
ご利用できるデータベース

< 新聞記事 >

(全国紙)

- ・朝日新聞社:朝日新聞記事
- ・産経新聞社:産経新聞記事
- ・日本経済新聞社:日経本紙、日経産業、日経流通、日経金融
- ・毎日新聞社:毎日新聞記事
- ・読売新聞社:読売新聞記事

(ブロック紙、地方紙、その他)

- ・北海道新聞社:北海道新聞記事
- ・中日新聞社:東京新聞記事
- ・中日新聞社:中日新聞記事
- ・信濃毎日新聞社:信濃毎日新聞記事
- ・京都新聞社:京都新聞記事
- ・中國新聞社:中国新聞記事
- ・西日本新聞社:西日本新聞記事
- ・琉球新報社:琉球新報記事
- ・毎日新聞社:毎日フォトバンク、毎日小学生新聞、毎日中学生新聞

< 人物 >

- ・毎日新聞社:全国知事・市町村長データベース
- ・日外アソシエーツ社:人物著述情報

< 企業 >

- ・東京商工リサーチ社:企業情報
- ・帝国データバンク社:上場・店頭登録企業概要情報及び企業コード検索用データベース

< 金融 >

- ・QUICK社:QUICK金融情報(市況概況、マーケットデータ等)

< 地域統計 >

- ・日本統計センター、国際航業社(エフジェネックス):地図、町丁データ・地域マイクロデータベース
- ・東京都ビジネスサービス社:阪神・淡路大震災被害記録データベース

< 科学技術 >

- ・電子デバイス情報サービス社:半導体情報データベース

< 海外情報 >

- ・KMK デジテックス社:DIALOG 海外の教育・ニュース・サイエンス情報データベース(英文情報)、英日翻訳システム

申し込み

平成 11 年 4 月 30 日まで(第一次募集)に下記項目をご記入のうえ、

メール(educ@c@dpc.or.jp)

あるいはFAX(03-3508-2440)でご請求ください。利用申込書をお送りします。

お名前・学校名・ご住所・電話番号・FAX 番号

電子メールアドレス

お問い合わせ

財団法人データベース振興センター 振興部

「教育分野におけるデータベース利用推進事業」事務局

〒105-0004 東京都港区新橋 2-13-8 新橋東和ビル 5F

電話:03-3508-2430 FAX:03-3508-2440

ホームページ:http://www.dpc.or.jp

電子メールアドレス:educ@dpc.or.jp

*お問い合わせはできるだけ上記のメールかFAXでお願いいたします。

先進的教育用ネットワークモデル 地域事業顛末

先に話題になった、先進的教育用ネットワークモデル地域事業の導入校が決定した。

札幌市では全 25 校が選定された。まず、市立普通科高校 7 校、中学校 6 校、小学校 12 校に導入される。1 学期中に事業内容の説明がなされ、2 学期から実際に使用することになる予定である。事業概要はまだ明らかにされていないが、一部にはプライベート IP のみの接続になるのではないかと囁かれている。平成 10 年を皮切りに平成 13 年(2001 年)には全国の公立学校にインターネット接続するように前倒しで計画が進行している。今回導入されるシステムはたしかに脆弱かもしれないが、まずはある環境を十分に利用し成果と課題を明らかにしてということが、今後導入される新たなシステムの基盤となるであろう。それぞれの学校の実践に期待したい。

「メディア・リテラシー授業入門」

学習指導要領が新たに発表される度に、雨上がりの竹の子よろしく、新しい教育図書が出版されている。今回もご多分にもれず、総合的学習の本がどんどん出版されている。総合的学習では情報教育も注目されているが、こんな本が出版された。

ネットワーク双書「総合的学習」シリーズ
メディア・リテラシー授業入門～情報を読み解き自ら考える力をつける～

トロント市教育委員会 = 編 吉田孝 = 訳
学事出版 定価 1,700 円 + 税 ISBN4-7619-0595-6

内容は、

序文

第 1 章 実践の手引き

第 2 章 家庭・学校でのメディア教育

第 3 章 実践モデル

第 4 章 指導の時期について

という構成である。原題は「メディアの暴力への対応 - 授業実践への第一歩 -」である。アメリカではなく、カナダからの発信というあたりが目新しい。情報教育に携わる者にとって一読の価値があるかもしれない。

そういえば ACE 北海道も資産があるな...あれなんとかしたいですな ^^;

父母と先生の会ホームページについて

<http://www.oroppas.or.jp/town/nishioka/pta/pta.htm>

武田 亘明

北海道初の PTA 独自のホームページを開設している札幌市立西岡小学校父母と先生の会の新しいメディアを活用した情報公開の取り組みについて報告します。

(1) ホームページ公開への経緯

平成 10 年 6 月の役員会で発案があり検討することが承認されました。この際、役員達の間でも実際にインターネットを活用している会員の数は極めて少なく、なかなかイメージを掴んでもらうことは難しい状況にありました。そこで試作したホームページをプリントしたものを常任委員会に提示し、検討の上、公開するこ

とについて了承され、正式公開することとなりました。

(2) 公開情報の内容

紙メディアで広報する場合は、その文面上の表現に問題がないようにお互いにチェックしてから印刷するようにしています。インターネットに公開する情報に間違いがあってはならないので、これを避けるために、紙メディアとして承認されたものをそのままの表現でホームページ化するものとししました。従って、内容としては、4月の総会での配布資料から「PTA だより」や各種委員会からのたより類を公開することにしました。

ホームページ上に情報公開する場合、紙メディアに比較して、写真や映像、画像、音声などよりマルチメディアに表現することが可能です。この利点を生かすため、広報用に撮影した写真をアルバムとして公開することにしました。

(3) サーバーの問題

インターネット上に情報を公開するためには、サーバーにデータを収納することが必要となる。「父母と先生の会」として民間インターネットサービスプロバイダーに契約して、情報公開することもできるが、契約する費用がかかります。また、会員が個人的に契約しているサーバに情報を収納することも可能ですが、公の情報が個人のサーバーエリアに収納されているのはなじみません。そこで、札幌市エレクトロニクスセンターから市民団体「ハイパー風土記札幌・インターシティ OROPPAS 運営委員会」に貸し出されている公のサーバー (<http://www.oroppas.or.jp>) に情報を収納することを運営委員会に依頼し無料でサーバーを借用することにしました。

(4) ホームページの情報の更新と運営体制 学年部、広報部、文教部、社会部など分野別に各委員会が活動している。そこで事務局がホームページへの情報公開を担当することとしました。

今後の課題としては、つぎのような取り組みを行い、さらに充実したものにしていきたいと考えています。

(1) 情報生成、発信体制について

ホームページとして情報を公開することができるように、人材育成が欠かせません。そのために講習会の実施が必要となります。現在、事務局でページ作成を行っていますが、各部から自由に情報発信できる体制の構築が重要です。各部の委員のホームページ作成とFTPに関するスキルアップが必要となります。

(2) コンピュータ室などの学校施設の活用 平成10年度、11年度で札幌市内の小学校すべてにコンピュータ22台ずつ整備されることになっています。この設備を活用して、ワープロ、表計算、データベース、インターネットなどについての会員向け講習会・研修会を実施する計画です。

(3) 父母と教師の連携による運営体制の確立 現在は、「父母と先生の会」からの発信文書などの情報をインターネット上に公開していますが、今後は、「学校だより」など、学校の年間プログラムや各クラスの活動内容などについても公開できるようになれば、これまで以上に学校内の状況が地域に周知され、地域からの協力も受けやすくなることと思われます。

(4) 町内会などとの連携

地域の町内会や健全育成協議会、スクールゾーン委員会などとの連携により、子供の生活環境の安全に関する情報交換体制を持つ必要があります。これらの団体との会議は年3回程度行われ、その内容を公開することも考えられます。

(5) 区PTA連合会、市PTA協議会などへの展開 現在、札幌市内では、父母と先生の会としてホームページを開いているところ

はありません。今後は、市PTA協議会においてもホームページを開設し、そこから、各単位PTAへのホームページへのリンクをはり、関係する団体の活動について情報交換する場の設定が有効となると考えられます。

ACE 北海道・今月の新会員のご紹介

松岡 秀行さん 上士幌町教育委員会 (2/23)

西口 勇さん 株式会社大林組マルチメディアスタジオ (2/26)
(nishi@po.iijnet.or.jp)

よろしくお願ひします。

ひさびさの掲載かな？

新会員紀行

初めまして！札幌啓北商業高校の今 久美子と申します。いろいろ教えていただきたく、参加致しました。宜しくお願いいたします。

啓北商の最長老だそうです。もう、28年目になります。でも、最年長ではありません。私が新卒で入ったころから、コンピュータが入り、電算機一般がありました。FORTRAN、COBOLを紙テープでパンチして、FACOM230-15のコンピュータにかけていました。テープにゴミがつまったり、切れたりで大変でした。

次に、カードにマークしてかけられるようになり、コンピュータも変わりましたが、メモリーが少なく、1クラス45人分の2次元の表を記憶できなく、ドラムに出し入れしながら、計算させなければなりません。今からみると、とても、余分なテクニックが必要でした。

現在は、市立高校全部に光ファイバーが入るようです。啓北商には、一足早く文部省のがはいりました。3月から、90台でインターネットが出来ます。どの様に活用するかは、必死に検討中です。とりあえず、Webサイトの検索とE-メールを自由にさせてます。

情報処理の科目では、(1)キータッチ(2)インターネット(3)ワープロ(一太郎)(4)表計算(エクセル)(5)データベース(アクセス)(6)VBをやっています。商業高校なので、今まで通り検定が必要なので、ワープロは2級位まで、利用技術は、1級までを目指します。これを基に、課題研究や総合実践の科目で、応用させて、自由に考えさせたり、実際に活用させるために、目下検討中です。良いアドバイスがありましたら、お願いします。

本当に、コンピュータも、この5年位の変わり様はすさまじいですね。目が回りそうです。今までの知識や技術はどうなるのだ～虚しいな。私が、15才の時アマチュア無線を始めました。JA8CEPです。真空管で作ってました。パリコンで周波数を合わせてました。すぐ、トランジスタの時代が来て、高校3年の時、ICというのを耳にしたのです。機械もどんどん変わりました。何か、コンピュータも似てます。せつかく覚えたと思ったら、すぐ進化してしまうんですから……。

息子が、「JA コールは、戦後まもなくの人たちのコールなんだってね。」と言いました。戦後まもなくって？と愕然としました。戦後まもなくに生まれたけれど……。とにかく、あと10年頑張ります。

ACE 教育とコンピュータ利用研究会 北海道支部 4 月度教育研究会について

ACE 北海道 4 月研究会のお知らせです。そういえば研究会をやるのは久しぶりですね。

一昨年は「モバイル」をテーマに NTT 北海道移動通信網で、そして昨年は「地域とネットワーク」をテーマに札幌大学で開催しました。今年は大まかに「Net で Meetig」(MS のソフトのことじゃなくてね)を中心に、下記のようなテーマ案を進めていきたいと思いますが、取り急ぎ日程と場所だけお知らせ申し上げます。

2 年ぶりに研究会に清水先生がきてくれるようなお話になっているので、是非多数の参加をお待ちしております。

と き 1999 年 4 月 24 日(土曜日)14:00 ~ 17:00

ところ かでる 2・7 (北 2 条西 7 丁目、植物園正面) 10 階、一番南の部屋

メインテーマ:

「子どもの顔と顔が見える！何ができる？！映像を使ったネットワーク・コラボレイティブ・エデュケーション」

プログラム:(案)

- ・衛星通信をつかったモバイル環境について(清水:玉川大)
- ・リアルビデオについて(桜庭先生)
- ・CuSeeMe について/モバイル環境でネット会議する(荒島)
- ・NetMeetig について
- ・画像サーバーについて(デモ)(武田)
- ・郵政関係の 3 0 校のネットワーク化について
- ・子ども放送局について

18:00 ~ 20:00 懇親会

編集後記

前号で、欲しい Mac がない、という切実な悩みを訴えた私ですが、EXPO でコンシューマー・ポータブル機が発表されなかったのを知るやいなや Amulet ブースで G3/240 のボード 2400 に積みました。ん~これは速い。そして最近、英語版 iMac Rev/B の出物があつたので、これ又ゲットです。この次買う Mac は私にとって 10 台目の記念すべきものです。さあ何を買おう。(吉田)

ひさしぶりの編集会議です。最近はある ACE に貢献していないので、今日は紙折りに来ました。参加しているメーリングリストも 4 つになり、少ないときで 30 通、多いときで一日 100 通近いメールが来ます。職員室までインターネットの線を伸ばしたことで、いろいろな先生にインターネットの魅力を知ってもらうことができました。おいしい日本酒のページ、釣りのページ・・・おいしい趣味ばかりだよ。今年もどうぞよろしく願います(さとうまさし)

武田先生、助教授昇進おめでとうございます。思えば先生と知り合ってから苦節 5 年、僕は生涯一ヒラ社員、武田先生は生涯一専任講師をお互いに貫き通すものとはばかり考えていましたが、数々の困難をともに乗り越えてきた甲斐がありましたね！これで北星女子短大も 21 世紀への歴史的な第一歩を踏み出して、新しい情

報と教育の殿堂として世界にその名を轟かせるのでしょうか。うう、感激・・・しかし、肝心の手取りは増えない見込みとか・・・うう、感涙・・・いや、教職は聖職、そんなことにはめげず、これからは清貧を旨として再びともに頑張りませう！教授はもう、目前です。(青柳)

武田支部長がこのたび助教授になられるという噂です。噂ですよ。もう一つの噂と言えば、例の「先進的教育」に落選中も当選しました。IWE では時分に泣き、100 校プロでは相手にされず、こねっとなんざん働いたあげく見捨てられ、悲しい人生を歩んできましたが、ようやく回線がくると思うと嬉しいやら悲しいやら...2001 年には全てに学校がインターネット接続されるようです。それまでに 2 年間、実験校の一員として子供たちがどのように有効に使うのかを具体的に示し、成果と課題を明らかにしたいと思えます。その資産をこれからのネットワーク環境の基礎資料となればと思います。みなさんの物的的のご援助をよろしく願います。(荒島)

3 月・・・もう春だなぁ、と思っていたら、まあひどい雪でいやになっちゃいますよねえ。車のタイヤを取り替えるタイミングって実は結婚のタイミングより難しいんじゃないかと思ったりする今日この頃です..... 振り返ると、つい先日、4 3 人の卒業生を送り出したばかりなのですが、明日はもう新しく担当するクラスのガイダンス打ち合わせだったりします。ほんとにめまぐるしく、めぐりくる春です。くるくる。今年度は、担任 1 年目という事もあり授業・担任業務に追われる日々だったような気がしますが、来年度は学内の実習だけにとどまらず、学外にも目を向け・足を向け、より実践的なカリキュラムを展開していこう！と心に誓っております。あれ、.. 今日とは今年度最後の ACE レターではないのかな.....? 来年度もがんばろーっと!(みさわ)

1999 年が明けてもう 1/4 が終わろうとしています。まあしかし、まだ 3/4 もあるんだからいろんなことしようと思えます。そのひとつ「キーボード」。って A, B, C・・・のキーボードじゃなくって のキーボード。そう、私は MIDI 入力の人になります。今年の MacWorld EXPO で Roland のブース見てからというものすっかり虜になってしまった私は、ピッチバンドとモジュレーションスイッチ付きの 4980 円のキーボードを秋葉原で買って、見澤先生を目標に日々研鑽・・・(野口)

いやぁ、予定外に突然登場して編集後記を書いています。最近、ThinkPad235 を買いました。快適にモバイルしてます。私の学校のパソコン人口も急激に増えて、職員室の天井はネットワークケーブルが張りめぐらされてます。今度の目標は、デジタルで音声入力できるようにして、フルデジタル録音で、CD を作ることかな。それと、データベースを使えるようになること。Linux ももっとやりたいし、HTML の勉強もしたい。やりたいことがいっぱい。しかし、なんの因果か 1 年生の担任になってしまった！1 年生で何ができるか。それが問題だ。(高橋)

教育とコンピュータ利用研究会 北海道支部

1999 年 3 月 30 日発行

事務局：〒060-8711 北海道札幌市中央区大通西 3-6
北海道新聞社 情報開発本部内(担当：青柳・吉田)
TEL 011-210-5801 FAX 011-210-5532